



# 徳川美術館 名品コレクション展示室

令和4年 9月21日(水)~12月15日(木)

展示期間 A:9/21(水)~10/16(日) B:10/18(火)~11/15(火) C:11/16(水)~12/15(木)

## 【第4展示室】

### 武家の式楽 - 能 -

足利将軍家は、猿楽=能を庇護し、高度に洗練された舞台芸能に育てあげた。大名たちにも大いにもてはやされ、公式行事に演能は欠かせぬものとなった。江戸幕府もこの伝統を承け、舞楽が公家の式楽であったのに対して、能を武家の式楽と定めた。

御殿の広間の前庭には能舞台が設けられており、慶事や公式行事の際には必ず能が演じられ、それを見ながら宴は進められた。そのため大名には能役者が召抱えられ、各種の曲目に応じられるように、いろいろな装束・能狂言面・小道具が備えられていた。

正月二日(後に三日)には幕府で「謡初め」が行われ、大名家でも年中行事とされた。大名自身も謡い、時には自ら舞うことも必須の教養とされていた。

No.	名称	作者・所用者・所蔵者・寄贈者など	時代	世紀	期間	
1	能面 平太	伝徳若作	江戸	17	B	
2	能面 阿波男	個人蔵	桃山-江戸	16-17	C	
3	能面 慈童		江戸	18-19	A	
4	能面 小面	<b>【第4展示室の見どころ - 武家の式楽 能-】</b> 足利将軍家は、猿楽=能を庇護し、高度に洗練された舞台芸能に育てあげた。大名たちにも大いにもてはやされ、公式行事に演能は欠かせぬものとなった。江戸幕府もこの伝統を承け、舞楽が公家の式楽であったのに対して、能を武家の式楽と定めた。 御殿の広間の前庭には能舞台が設けられており、慶事や公式行事の際には必ず能が演じられ、それを見ながら宴は進められた。そのため大名には能役者が召抱えられ、各種の曲目に応じられるように、いろいろな装束・能狂言面・小道具が備えられていた。 正月2日(後に3日)には幕府で「謡初め」が行われ、大名家でも年中行事とされた。大名自身も謡い、時には自ら舞うこともあり、能は必須の教養とされていた。	江戸	18	C	
5	能面 曲見		江戸	18	B	
6	能面 獅子口		江戸	18	A	
能舞台						
7	萌黄地立涌に輪宝文金襴袷狩衣		江戸	17-18	A	
8	萌黄地亀甲に桐文金襴袷狩衣		江戸	18	B	
9	紫地檜垣に牡丹文長絹	江戸	18-19	C		
10	白地唐花唐草文金襴袷法被	江戸	18-19	A		
11	紺地唐花文金襴袷法被	江戸	19	B		
12	萌黄地紗綾形に輪花文金襴袷法被	江戸	18	C		
13	花色地菊水文素袍	江戸	19	A		
14	萌黄地吹寄文掛素袍	江戸	18-19	B		
15	白地切金に鶴亀文直垂	江戸	19	C		
16	鉄線唐草蒔絵葛桶	江戸	19	AB		
17	金唐革張床机	江戸	18-19	AB		
18	石踏蒔絵小鼓胴 附 葡萄唐草蒔絵鼓箱	個人蔵	江戸	19	C	
19	紅地二重菱に籬菊の丸文唐織	江戸	18	A		
20	赤地四つ花菱文厚板唐織	江戸	18	B		
21	赤地震に雪持松紅葉文唐織	江戸	19	C		
22	白地青海波に紅葉文縫箔	江戸	18	B		
23	花色・薄浅葱段熨斗目	江戸	18	A		
<b>【修理後初公開】</b>						
24	白・納戸細格子と茶・花色・黄・赤・白横縞腰替熨斗目		江戸	18	C	